

じいじ
ぼくのじいじは、魚やをしていました。名前は、「魚末」です。四十二年間はたらいていましたが、さい近お店をしめました。じいじは、あさ早くおきてけいトラにのり、いちばへ行きます。ぼくもいちばへ行きたくて早おきしました。すぐくねむかったです。いちばでのじいじは、魚やのぼうしをかぶっていて、とてもかっこよかったです。いつもいえに居るじいじではありませんでした。あさ早くてよるもおそいし、休みも少ない大へんなしごとだと思いましたが、じいじは、自分の買った魚や切ったさしみがうれるのがうれしいと言っていました。ぼくも、じいじの切ってくれたさしみが大きいです。お店がなくなるのはいやだけど、じいじもお店も、みんなのためにがんばってくれてあげよう。ぼくもみんながよろこんでくれるしごとがしたいです。

やまなか る い
山中 琉生さん

